



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月14日

上場会社名 児玉化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4222 URL <http://kodama-chemical.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齋木 均
 問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)大洞 豪将 (TEL)050(3645)0121
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,425	△5.4	136	—	△12	—	△264	—
2019年3月期第3四半期	14,190	△3.9	△302	—	△444	—	△509	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 △198百万円(—%) 年 月期第3四半期 △518百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	△68.36	—
2019年3月期第3四半期	△137.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	13,777	883	0.6
2019年3月期	14,643	1,074	2.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 80百万円 2019年3月期 334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0	0
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	△5.8	170	—	10	—	△430	—	△124.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	3,952,941株	2019年3月期	3,952,941株
2020年3月期3Q	79,125株	2019年3月期	92,491株
2020年3月期3Q	3,868,929株	2019年3月期3Q	3,854,141株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(会計上の見積りの変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いており、激化する米中貿易摩擦を背景とする海外経済の低迷や自然災害発生の影響等もあり、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループにおきましては、国内の自動車部品事業では、三次元加飾工法や塗装品による乗用車部品は堅調に推移したものの、中東向け乗用車部品の需要が低迷し売上高は微減傾向となりました。また、昨年5月に策定した中期経営計画により、事業ポートフォリオ改革・自動車部品での生産安定化および拡販・管理コスト削減と経営組織力強化による事業構造改革を実施しており、その成果が第2四半期から見え始めたことにより収益は改善いたしました。国内の住宅設備・冷機部品事業では、新規住宅着工並びにリフォーム需要とも低調に推移しており、消費税増税前の駆け込み需要が一部あったものの、10月以降の駆け込み需要の反動により売上高は減少しました。海外に於いては、ASEAN地域において一部で景気の回復基調が見え始めましたが、タイの冷蔵庫部品等の需要が減少し、経済が減速している中国での事業は引き続き販売が低迷しました。このような状況の中、当社は、2019年度を初年度とする3カ年の再建中期計画を策定し、事業構造改革を推進まいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は13,425百万円(前年同四半期比5.4%減)と減収となり、営業利益は136百万円(前年同四半期は営業損失302百万円)、経常損失は12百万円(前年同四半期は経常損失444百万円)、税金等調整前四半期純損失は176百万円(前年同四半期は税金等調整前四半期純損失444百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は264百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失509百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 自動車部品事業

当事業の国内自動車部門におきましては、主に三次元加飾工法や塗装品は堅調に推移しましたが、中東向け乗用車部品が微減傾向に推移いたしました。また、海外自動車部門におきましては、タイのECHO AUTOPARTS (THAILAND) CO., LTD. に於いても自動車生産減少方向にあり、売上高は減少しました。

この結果、売上高は8,133百万円(前年同四半期比5.7%減)、セグメント利益は280百万円(前年同四半期比14523.1%増)となりました。

② 住宅設備・冷機部品事業

当事業の国内住宅設備部門におきましては、10月からの消費税増税後の需要反動により秋以降の注文が減少したため、売上高は減少いたしました。海外冷機部品部門におきましても、タイのTHAI KODAMA CO., LTD. は新規アイテムの受注増がありました。冷蔵庫部品等の需要減がカバーできず、ベトナムのTHAIKODAMA (VIETNAM) CO., LTD. も同様に冷蔵庫関係の需要が大きく落込み、売上高は減少いたしました。中国の無錫普拉那塑膠有限公司では、米中貿易摩擦の影響により中国市場の冷え込みが影響し、中国市場向けの製品が全般的に落ち込んだ結果、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は4,659百万円(前年同四半期比5.8%減)、セグメント利益は141百万円(前年同四半期比624.9%増)となりました。

③ エンターテインメント事業

当事業におきましては、ゲームソフトパッケージの需要が増加したことにより、売上高は増加しました。

この結果、売上高は632百万円(前年同四半期比2.6%増)、セグメント利益は52百万円(前年同四半期比49.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は13,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ865百万円の減少となりました。

資産では、流動資産が現預金及びその他の減少等により831百万円減少し、固定資産が有形固定資産の償却等により34百万円減少しました。

負債では、流動負債が短期借入金の増加等により15百万円増加し、固定負債が長期借入金の減少等で689百万円減少しました。

純資産では、利益剰余金の減少等により191百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました通期業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2020年2月14日）に公表いたしました「特別損失の計上ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,739,050	1,088,632
受取手形及び売掛金	3,102,562	3,015,768
商品及び製品	454,312	393,679
仕掛品	277,755	221,329
原材料及び貯蔵品	848,340	801,598
その他	129,339	199,082
貸倒引当金	△10,342	△10,658
流動資産合計	6,541,018	5,709,432
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,967,484	6,169,670
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,558,873	△3,721,913
建物及び構築物(純額)	2,408,611	2,447,757
機械装置及び運搬具	7,831,538	8,261,014
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,564,987	△6,870,042
機械装置及び運搬具(純額)	1,266,550	1,390,971
土地	2,944,278	2,967,204
リース資産	858,717	861,795
減価償却累計額	△388,172	△455,663
リース資産(純額)	470,544	406,131
建設仮勘定	193,209	141,415
その他	2,937,001	3,044,940
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,496,160	△2,740,297
その他(純額)	440,841	304,643
有形固定資産合計	7,724,036	7,658,123
無形固定資産		
その他	70,158	59,142
無形固定資産合計	70,158	59,142
投資その他の資産		
投資有価証券	238,634	254,460
長期貸付金	113,650	113,650
固定化営業債権	18,990	18,990
繰延税金資産	23,159	38,840
その他	106,941	117,804
貸倒引当金	△193,139	△192,799
投資その他の資産合計	308,236	350,945
固定資産合計	8,102,430	8,068,212
資産合計	14,643,449	13,777,644

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,395,914	3,030,592
短期借入金	5,896,463	6,237,431
リース債務	109,574	51,409
未払法人税等	33,947	27,792
賞与引当金	37,422	134,008
その他	787,540	794,946
流動負債合計	10,260,862	10,276,181
固定負債		
長期借入金	2,547,782	1,817,759
リース債務	197,150	211,018
繰延税金負債	52,128	48,617
株式給付引当金	16,052	10,095
退職給付に係る負債	482,072	528,825
その他	12,700	1,760
固定負債合計	3,307,885	2,618,076
負債合計	13,568,748	12,894,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,343,856	3,343,856
資本剰余金	285,167	285,167
利益剰余金	△3,262,907	△3,527,390
自己株式	△79,245	△66,498
株主資本合計	286,871	35,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,551	14,530
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	12,156	6,705
退職給付に係る調整累計額	31,734	24,482
その他の包括利益累計額合計	47,442	45,719
新株予約権	5,666	—
非支配株主持分	734,720	802,531
純資産合計	1,074,700	883,386
負債純資産合計	14,643,449	13,777,644

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	14,190,672	13,425,547
売上原価	12,870,181	11,768,374
売上総利益	1,320,490	1,657,172
販売費及び一般管理費	1,623,106	1,521,143
営業利益又は営業損失(△)	△302,615	136,028
営業外収益		
受取利息	8,714	11,493
受取配当金	8,065	8,998
固定資産売却益	18,640	9,786
助成金収入	27,670	—
その他	24,242	18,040
営業外収益合計	87,333	48,318
営業外費用		
支払利息	154,037	126,792
支払手数料	15,778	12,926
為替差損	12,911	20,466
その他	46,482	36,693
営業外費用合計	229,210	196,879
経常損失(△)	△444,493	△12,532
特別損失		
事業構造改善費用	—	163,735
特別損失合計	—	163,735
税金等調整前四半期純損失(△)	△444,493	△176,267
法人税、住民税及び事業税	15,182	59,125
過年度法人税等	13,002	—
法人税等調整額	20,497	△27,178
法人税等合計	48,681	31,947
四半期純損失(△)	△493,175	△208,215
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,636	56,267
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△509,811	△264,482

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純損失(△)	△493,175	△208,215
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,941	10,979
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	6,546	5,674
退職給付に係る調整額	17,066	△6,504
その他の包括利益合計	△25,326	10,149
四半期包括利益	△518,501	△198,065
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△542,877	△266,206
非支配株主に係る四半期包括利益	24,376	68,140

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において営業損失352百万円、経常損失552百万円、親会社株主に帰属する当期純損失694百万円となりました。また、当第3四半期累計期間においても経常損失12百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失264百万円を計上しております。また、事業構造改革に係る外部コンサルタント費用等特別損失の計上により、個別財務諸表において債務超過の状態にあります。このような状況により、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象等が存在しております。

当社は当該状況を解消すべく、今後の再成長に向けた強固な収益体質の確立と財務体質の抜本的な改善を図るため、エンデバー・ユナイテッド株式会社が管理・運営する投資ファンドであるエンデバー・ユナイテッド2号投資事業有限責任組合（以下、「EU社」といいます。）との間で金銭支援のほか、人的支援、ノウハウの提供を通じたスポンサー支援に関する合意書を締結するとともに、2020年1月8日に「事業再生ADR手続」の利用を申請し、同日受理されました。

当社は、事業再生計画を遂行することにより当該状況を解消できるものと考えておりますが、これらの対策案は全お取引金融機関と協議を進めている途上であるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、このような継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2018年9月6日付発行の第三者割当による行使価額修正条項付第2回新株予約権の一部行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ103,643千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,341,812千円資本剰余金が283,123千円となっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	エンターテインメント 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	8,626,980	4,947,544	616,147	14,190,672
セグメント間の内部売上高又は振替高	104,451	270,411	—	374,863
計	8,731,431	5,217,956	616,147	14,565,535
セグメント利益	1,918	19,456	34,950	56,325

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	56,325
全社費用(注)	△504,565
未実現損益調整額	1,040
その他の調整額	2,706
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純損失(△)	△444,493

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	エンターテインメント 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	8,133,525	4,659,683	632,337	13,425,547
セグメント間の内部売上高又は振替高	107,911	216,265	73	324,251
計	8,241,437	4,875,949	632,411	13,749,798
セグメント利益	280,483	141,044	52,258	473,786

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	473,786
全社費用(注)	△640,245
未実現損益調整額	940
その他の調整額	△10,749
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純損失(△)	△176,267

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。